

環境大臣 西村 明宏 様

日本野鳥の会もりおか
代 表 佐賀 耕太郎

日本野鳥の会宮古支部
支部長 関川 實

日本野鳥の会北上支部
支部長 佐々木 仁

公益財団法人日本野鳥の会
理事長 遠藤 孝一
(各団体公印省略)

**岩手県の「(仮称)盛岡藪川風力発電事業」予定区域及びその周辺における
希少猛禽類や渡り鳥の生息環境の保全と累積的影響の回避・低減に関する要望書**

日頃より日本野鳥の会の自然保護活動にご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、岩手県盛岡市藪川地区に計画されている「(仮称)盛岡藪川風力発電事業(以下、当該事業という)」について、日本野鳥の会は、風力発電施設の建設予定地とその周辺地域(以下、当該地域という)に生息する希少猛禽類や各種渡り鳥の生息環境保全の観点から下記の通りに要望いたします。貴職におかれましては、当該地域の豊かな自然環境の保全のため、よろしくお取り計らいくださいますようお願いいたします。

記

1. 要望内容

当該地域はイヌワシ・クマタカ等の国内希少野生動植物種にとっては重要な生息地であるとともに、ガン・カモ類やハクチョウ類等の渡りルート上に位置しております。また、環境省のレッドリストで準絶滅危惧種に指定されている希少な夏鳥のオオジシギ等の繁殖地でもあります。このたび株式会社レノバにより「(仮称)盛岡藪川風力発電事業環境影響評価配慮書」が公表されましたが、仮に当該事業がその計画通りに実施されれば、当該地域における貴重な鳥類の生息環境や渡り鳥の飛翔ルートの攪乱や消失といった甚大な影響が生じることは避けられません。

従って私どもは、これらの鳥類の生息環境保全の観点に基づき、当該事業の白紙撤回を検討するよう事業者に対し指導、勧告して下さることを強く要望いたします。

また、風力発電施設の建設が周辺地域の自然環境に影響を与えないような形で導入されるためには、累積的環境影響の適切な評価の実施と影響の回避・低減策の策定が必須であることから、貴職の主導により累積的影響評価の標準化(ガイドライン作成など)を実施していただくことを強く要望いたします。

2. 要望の背景

(1) 岩手県の北上高地北部には山林・牧野・農耕地・河川・湖水等が混在した多様で豊かな自然環境が存在し、一年を通して多くの鳥類や野生動植物が生息しております。特に当該地域やそ

の周辺は多くの鳥類にとって貴重な繁殖地、あるいは越冬地となっており、岩手県の鳥獣保護区や同特別保護地区、県立自然公園（第2種及び第3種特別地域）、北上高地緑の回廊などが存在しております。さらに、環境省は環境アセスメントデータベース（EADAS）の「風力発電立地検討のためのセンシティブティマップ」で、北上高地全体を注意喚起レベルA3に指定しております。このような地域に大規模な風力発電施設が建設されれば、貴重な自然環境、特に鳥類に代表される野生動物の生息環境に対し重大な影響が生じることが強く危惧されます。

従って、私どもは当該地域における風力発電事業計画は中止するべきであると考えます。

(2) 北上高地にはイヌワシ・クマタカ等の希少猛禽類が高密度で生息しております。特にイヌワシは、環境省のレッドリストでは絶滅危惧IB類に、岩手県の「いわてレッドデータブック」ではAランクに、文化財保護法においては国の天然記念物に、また、絶滅の恐れのある野生動植物の種の保存に関する法律においては国内希少野生動植物種に指定されています。つまり、イヌワシの保護は我が国の野生生物の保護管理政策上の重要課題の一つであると言えます。

岩手県には我が国に生息するイヌワシの20%ほどが生息しており、特に北上高地はイヌワシの生息適地として日本国内に残された貴重な地域となっています。当会のこれまでの観察においても、当該地域を含む広いエリア内に複数のイヌワシのペアが生息していることを確認しております。風力発電施設は、その規模の大小にかかわらず、主にバードストライクと、風力発電施設を忌避することにより狩場（餌場）が放棄される「生息地放棄」の二つの影響を及ぼすため、当該計画はこれらの希少猛禽類の定常的な生息を脅かします。実際に岩手県内では2008年9月に北上高地の釜石広域ウィンドファームでイヌワシのバードストライクが発生しており、また、かつてはイヌワシの定常的な採餌適地であった盛岡市玉山地区の天峰山付近の地域では姫神ウィンドパークの稼働後にイヌワシの姿が全く見られなくなりました。すなわち、岩手県内各地では既存の風力発電施設の稼働後に希少猛禽類の繁殖や採餌の適地が消滅しております。このような状況の下で北上高地に新たに大規模風力発電施設が稼働すると、希少猛禽類の生息環境の一層の悪化を招くこととなります。

従って私どもは、希少猛禽類の生息環境の保全の立場から、当該事業計画は中止するべきであると考えます。

(3) 日本列島はシベリアやアラスカからオーストラリアに至る「東アジア・オーストラリア地域フライウェイ（EAAF）」のほぼ中央部に位置し、それぞれの季節ごとに日本列島各地で多種多様な鳥類の渡りや夏鳥の繁殖、冬鳥の生息等が観察されます。さらに近年の鳥類調査技術の飛躍的な進歩に伴い、それまで不明であった渡り鳥の飛翔コースなども次々と解明されるようになりました。実際に、大型の渡り鳥に発信器を装着して追跡する最新の調査技術などにより、北上高地北部がガン・カモ類やハクチョウ類等の春と秋の渡りの主要なルートとなっていることや、多くの渡り鳥が夜間にも活発に渡りをしていることなどが明らかになっております。またこの地域には、本州では非常に珍しくなったオオジシギ等の希少な夏鳥の繁殖も確認されております。オオジシギは環境省のレッドリストでは準絶滅危惧（NT）に、いわてレッドデータブックではBランクに指定されておりますが、繁殖期の習性により風力発電施設でのバードストライクの可能性が特に高いとされており、実際に福島県内の風力発電施設ではバードストライクが確認されています。さらに、当該地域では多種多様な小型鳥類の大群での渡りも観察されますが、その実態についてはまだ不明な点が多いのが実情です。風力発電施設の稼働に伴うバードストライクの発生により、小鳥類をはじめとする多くの鳥類が命を落としていることはこれまでに世界各地で多数報告されていますし、コウモリ類の衝突事故であるバットストライクも注目されております。北上高地に風力発電施設が次々と設置される状況になれば、渡り鳥の生息環境の攪乱と渡りルートの遮断、さらにはバードストライクやバットストライクの発生が一層危惧されることとなります。

従って私どもは、希少種を含む渡り鳥と渡りルート保全の立場から、当該事業は中止するべきであると考えます。

(4) 風力発電施設が鳥類の生息環境に及ぼす影響を適正に予測・評価することは、その地域における希少鳥類や渡り鳥の生息環境の保全にとって極めて重要であり、そのためには、近隣で稼働する他の風力発電施設や、進行中の他の事業計画との「累積的環境影響」を適切に評価することが不可欠となります。特に当該事業の事業実施想定区域は隣接する葛巻町内や盛岡市内で現在稼働中の複数の風力発電事業と尾根続きにほぼ連続しており、さらに南側の地域に予定されている「(仮称)宮古岩泉風力発電事業計画」とも地理的に近接しております。従って当該事業計画がそのまま実施されれば、北上高地の広大な地域におけるイヌワシの生息阻害や各種渡り鳥の飛翔ルートを遮断する障壁影響が発生する恐れが十分に想定されます。

これまでに、国内の様々な風力発電事業計画に対する環境大臣意見や経済産業大臣勧告では「累積的環境影響」の評価の実施を事業者に求めており、このこと自体は当然のことと思います。しかし、複数の事業者間に企業秘密の保持や競争などが存在する以上は累積的環境影響評価の実施に必要な調整を事業者同士に委ねることは難しい面があり、そのために累積的環境影響評価の内容は近隣の他事業計画の名称・予定地域・計画規模を記述する程度のおざなりなものに留まっております。風力発電施設を地域の自然環境に影響を与えないような形で導入するには、適切な影響の回避・低減策の策定は不可欠です。

私どもは、国レベルで累積的環境影響評価のガイドラインの作成を行なって、評価基準の標準化を実施していただく必要があると考えます。

当該事業の環境影響評価配慮書によれば、今回の「区域を広めに設定する」タイプの計画の進め方を環境省の定める「位置・規模の複数案」と位置付けております。しかし対象事業計画の中では風力発電施設の設置場所が大枠しか示されず、風車の基数や変電施設・送電線の設置位置なども「検討中」とのことで明確には示されておられません。このような具体性のない事業計画が性急に進められるとするなら、鳥類や自然環境の保護に限らず、地域住民の生活環境保全や防災の面でも問題が生じる可能性が高まります。今日の我が国では再生可能エネルギーの導入の必要性が喧伝されており、私ども日本野鳥の会は今後の純国産のエネルギー資源として風力や太陽光等の自然エネルギーを積極的に利用する方針について基本的に賛成しております。しかし再生可能エネルギー施設の開発事業であっても、それが自然環境を損ねては本末転倒であり、結果的には地域住民の健全な日常生活を損なうことにも繋がります。

繰り返しとなりますが、私どもはこれまで述べた観点に基づき、環境省として事業者である株式会社レノバに対し当該地域における事業計画を中止するようご指導いただくこと、また、累積的環境影響の回避・低減に向けた環境影響評価のためのガイドラインを早急に策定していただくことを強く求める次第です。

以上